

国語科学習指導案

令和3年11月24日（水）

1 単元名 「故郷」 魯迅（『新しい国語 3』 東京書籍）

2 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領（平成29年告示）〔知識及び技能〕(3)我が国の言語文化に関する事項の「オ 自分の生き方や社会との関わりを支える読書の意義と効用について理解すること。」及びの〔思考力・判断力・表現力等〕「C読むこと」(1)の「イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること」「エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。」に基づいて設定した。

本単元で扱う『故郷』は、中国の近代文学の代表的な作品であり、筆者の1919年の実体験がもとになって書かれた作品である。帰郷から故郷を離れるまでに描かれる主人公の心情や故郷で再開した人々の変化や行動には、魯迅のものの見方や考え方が色濃く表現されている。

この作品を読むことを通して、登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり、登場人物と自分との考え方の違いを確認したりして、作者のものの見方や考え方について考え、人間や社会の有り様に思いをはせて自分の意見をもつことは、大人への過渡期にある3学年の生徒にとって非常に有益な学習となると考える。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題がある。次の表は本年度実施された全国学力・学習状況調査3四「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかを見る。」問題における本校の実態を示すものである。

正答の条件	解答類型					
	1	2	3	4	99	0
次の条件を満たしている。 ① <u>【文章の一部】から「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用して書いている。</u> ② ①で引用した表現から、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書いている。 ③ ②のような「吾輩」の接し方について、自分の考えを具体的に書いている。	条件①②③を満たしている。	条件①②を満たし、③を満たさない。	条件①③を満たし、②を満たさない。	条件②③を満たし、①を満たさない。	その他	無解答
本校の学年（％）	33.3	2.0	2.0	33.3	3.9	25.5

この結果から、本学年の課題として、もの見方や考え方が表れている叙述を取り上げる力が不足していることが挙げられる。その理由として三つ考えられる。

- ・ 物語の読みを深める上で重要な「地の文の描写に着目する」力が不足している。
- ・ 語彙の不足により、人物の心理を表す多彩な語句を読み取ることができない。
- ・ 名作と言われる作品に触れていない実態があり、名作と呼ばれる作品に対して「難しい」「長い」「知らない言葉がたくさん出てくる」という先入観が大きい。

(3) 指導観

(2)生徒観で述べた生徒実態を踏まえ、小説を読んで考えたことを伝え合う言語活動として、生徒の資質・能力を育成するために本単元では、並行読書を取組の柱として設定する。

文章を読む抵抗感を低減させるために、生徒にとって親しみのある、小学校の国語の教科書に掲載されている五つの作品（『お手紙（小学第2学年）』『サーカスのライオン（同第3学年）』『ごんぎつね（同第4学年）』『大造じいさんとガン（同第5学年）』『海の命（同第6学年）』の中から一作品を選ばせ、並行して読書をさせる。また、人間や社会についてより深く考えさせるために、子ども食堂やヤングケアラーといった、子どもの貧困について取り上げた新聞記事を提示し、現実社会との関連をもたせるようにする。

以上に示す並行読書や新聞記事の提示を行うことを通して、文章を批判的に読みながら、文章に表れたものの見方や考え方について考えさせるように習熟させたり、より深く人間、社会などについて自分の意見をもったりすることができるようにする。

3 単元の目標

- 自分の生き方や社会との関わりを支える読書の意義と効用について理解することができる。
[知識及び技能(3)オ]
- 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。
[思考力、判断力、表現力等 C読むこと(1)イ]
- 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。
[思考力、判断力、表現力等 C読むこと(1)エ]
- 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
[学びに向かう力、人間性]

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 (3)オ	① 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 (C(1)イ) ② 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の考えをもっている。 (C(1)エ)	積極的に文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考え、学習課題に沿って「生きること」について考えたことを語り合おうとしている。

5 指導と評価の計画（全11時間）

次	時	学習内容	評価の実際			
			知	思	主	評価方法
1	2	○ 全文を通読し初読の感想と疑問点を挙げる。 ○ 並行して読書をする作品を1冊選ぶ。				

2	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1 場面から故郷に関する叙述を挙げ、班で Jamboard に書き込む。 ○ 挙げられた情報を「事実」と「意見」に分類し、主人公の故郷に対する思いを捉え Google スライドに記入する。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物の人間関係図を作成する。 ○ ルントーの昔と今の変化から、人物設定の仕方を捉え、Google スライドに記入する。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ○ ヤンお婆さんの昔と今の変化から、人物設定の仕方を捉える。 ○ ヤンお婆さんの言動に表れたものの見方や考え方について自分の意見を持ち、Google スライドに記入する。 	○		<p>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 (C(1)イ)</p>	記述の分析 (Google スライド)
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5 場面からルントーの言動に表れた、作者のものの見方や考え方を読み取り、Google スライドに記入する。 【本時】 	○		<p>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 (C(1)イ)</p>	記述の分析 (Google スライド)
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供と貧困に関する新聞記事を読み、『故郷』が他人事ではなく自分と身近な問題であることを知る。 ○ ルントーの言動に表れたものの見方や考え方について、自分の知識や経験と照らし合わせながら、自分の意見をもつ。 	○		<p>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 (C(1)エ)</p>	記述の分析 (Google スライド)
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 第6 場面「シュイションは連れずに」から、ルントーの言動に表れたものの見方や考え方を捉える。 ○ 作者が否定している三つの生活から、主人公・ルントー・ヤンお婆さんの生き方を比較し、作者の考える新しい生活を参考にしながら「生きること」に対する自分の意見を持ち、Google スライドに記入する。 	○		<p>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 (C(1)エ)</p>	記述の分析 (Google スライド)
3	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 並行して読書してきた一作品を根拠にして、「生きること」について自分の意見を挙げる。 ○ 前時の「故郷」を参考に考えた「生きること」と並行読書から考えた「生きること」を照らし合わせ「生きること」に対する自分の考えをまとめ、Google スライドを完成させる。 	○		<p>自分の生き方や社会との関わり方を支えている読書の意義と効用について理解している。 (知識及び技能(3)オ)</p>	記述の分析 (Google スライド)
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 完成した Google スライドをクラス全体で読みあい、コメント欄を通じて意見交流を行う。 		○	<p>積極的に登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題に沿って考えたことを語り合おうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	記述の分析 (Google スライド)
4	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価問題を解く。 ・「走れメロス」と「少年の日の思い出」のどちらかを選び「故郷」で習得したことを活用して作者のものの見方や考え方を捉える。 ・「生きる」ことはどんなことだと考えるか、「故郷」と比較しながら自分の考えを述べる。 	○		<p>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 (C(1)イ)</p> <p>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 (C(1)エ)</p>	記述の分析 (ワークシート)

6 本時の展開 (6/11)

(1) 本時のねらい

ルントーの言動を表す叙述を解釈して、文章に表れているものの見方や考え方についてまとめ、自分の知識や経験などと照らし合わせて考えさせる。

(2) 本時の評価規準

ルントーの言動を表す叙述を根拠にしてどのように解釈したのかを明確にして、文章に表われているものの見方や考え方についてまとめ、それに対する賛否を、自分の知識や経験などと照らし合わせて考えている。

(3) 展開

本時のめあて：ルントーの言動に表れたものの見方や考え方について考えよう。		
学習活動	教師の指導・支援	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のめあてを確認する。 ○ 国語辞典を使って難しい語句の意味を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の流れとめあてを確認させる。 ○ 難解語句「思案」「恭しい」について確認する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○ p. 161 0. 17～p. 162 0. 17 を音読する。 ○ 本文の叙述から、ルントーの言動を探し、線を引く。 ○ 「だんな様！……」から、ルントーが言いたくても言えなかったことを考える。 ○ ルントーが自分の思いを言えなかった理由を、本文の叙述をもとにして考える。 ○ ルントーが諦めてきたことを考え、挙げる。 ○ ルントーが友達として対等に生きることをあきらめてしまった理由を考え、ルントーの言動に表れたものの見方や考え方について考え、Google スライドに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言いたいことが言えないルントーの悩みや苦悩が「……」に表われていることに注目させる。 ○ 自分がルントーだったら何を伝えたいかを想像させ、ルントーの立場に立って考えさせる。 ○ ルントーの態度、動作、表情に関する描写に注目して、二人の関係が変化してしまったことを捉えさせる。 ○ ノートに整理した内容をもとに、考えたことをまとめさせる。 ○ 「ルントーの「～」という言動には、() が表現されている。この言動には、作者の～というものの見方や考え方が窺える。」の形で原稿を書かせる。 	
<p>予測される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ルントーの「唇は動いたが、声にはならなかった。」という言動には、(ルントーが自分とルーシェンとの間に身分や生活の差といった大きな隔りがあることに気づき、昔のように友達として対等に接することはできないのだということに気づいた瞬間) が表現されている。この言動には、(身分や生活の差が、仲の良かったはずの二人を引き裂いてしまう残酷な現実があることを知ってほしい) という作者のものの見方や考え方がうかがえる。 ○ ルントーの「喜びと寂しさの色が顔に現れた。」という言動には、(ルントーが本当はルーシェンと友達として接していこうと思っていたのに、ルーシェンと顔を合わせた途端、身分の差を実感してしまって、自分から大きな隔りを作ってしまったこと) が表現されている。この言動には、(日々の生活が辛すぎると、友達や生活、楽しさなど様々なことをあきらめなくては生きていけなくなる) という作者のものの見方や考え方がうかがえる。 		<p>「思考・判断・表現①」 Google スライド ここでは、ルントーの言動を根拠として、文章に表れたものの見方・考え方について考えているか、自分の知識や経験と照らし合わせて考えられているかの2点を確認する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ Google スライドを交流し合う。 ○ 本時の振り返りと次時の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の際の抑えるべきポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ ルントーの言動に関する叙述を、根拠として挙げている。 ・ 自分の知識や経験が論理の根拠として適切である。 	

十一月二十四日

めあて ルントーの言動に表れたもの見方や考え方について考えよう

ルントーの言動

- ・彼は突っ立ったままだった。
- ・喜びと寂しさの色が顔に浮かんだ。
- ・唇は動いたが、声にはならなかった。
- ・うやうやしい態度に変わった。
- ・「どんな様……」

本当は何が言いたかったの？

- ・「シュンちゃん。」
- ・友達だ。
- ・久しぶり。
- ・辛かったんだよ。
- ・助けてほしい。

言えなかった理由

- ・自分とルーシュンとの違いを知ったから。
- ・自分の服装などを客観的に見ると、とても友達とは言えなかった。
- ・自分の思いをいうことを諦めてしまってきたため、友達とは言えなかった。

諦め

ルントーが諦めてきたものにはどんなものがあるだろう

- ・人生
- ・友達
- ・自分の夢
- ・対等な関係でいること
- ・自分の思いを伝えること
- ・豊かな生活

作者のどんなもの見方や考え方が分かるだろう？

ルントーの「く」という言動には、（ ）が表現されている。

この言動には、作者のくというもの見方や考え方がうかがえる。

まとめ ルントーのもの見方や考え方に対する賛否（納得・共感できる？）を判断しよう。

(4) 板書計画